

牛込二中だより



元年度 No.5 令和元年11月11日
発行 新宿区立牛込第二中学校
校長 久保 文人
H P <http://www.shinjuku.ed.jp/jh-ushigome2>

【教育目標】自ら学び、考え、行動する人 思いやりと責任感のある人 健康で心豊かな人

「牛二中生全員でつくりあげた学芸発表会 ~感動と達成感~」



10月26日（土）「学芸発表会」が行われました。

『合唱コンクールの部』では、今年も舞台の上に六つの美しい花束が飾られました。「クラス合唱」という美しい花束が完成するまでには、様々なドラマがあったことだと思います。クラスが一つに束ねられ、一つ一つの美しい花束が作りあげられました。「合唱」が「楽唱」となり、舞台を降りた時お互いに微笑み合う「合笑」、そして一人一人が感じた達成感から「楽笑」となったと思います。



金賞：3A 「虹」 銀賞：3B 「友～旅立ちの時～」 銅賞：2A 「HEIWA の鐘」

1年生は、初めての合唱コンクールで大変緊張していましたが、一生懸命な姿と爽やかな歌声を披露してくれました。2年生は、指揮者を中心としてクラスが一つとなり、中堅学年として1年生のお手本となる、気持ちのこもった歌声を響かせてくれました。3年生は、最上級学年というプレッシャーを乗り越え、曲想・表現を大切にして、聴く人の気持ちを搖さぶる素晴らしい合唱を披露してくれました。

- ・とにかく3年生がかっこよかったです。指揮も伴奏も歌も一つになっている気がしました。自分たちも来年、あんな風になりたいです。 (2年 女子)
- ・3年生の合唱が良かった。僕も3年生になったら、練習を今以上に取り組んでいい声で歌いたい。 (2年 男子)
- ・僕が合唱を聞いて思ったことは、3年生の合唱がすごいと思いました。みんな口が開いていてハーモニー合っていてすごくきれいに聞こえました。なので僕たちも3年生になった時には、今の3年生を超えるように頑張りたいです。 (1年 男子)
- ・2年生や3年生の合唱は、1年生よりまとまりがあり、強弱や曲の感じを上手くとらえていて上級生らしかった。私たちも来年、1年生にそのように思ってもらえるように頑張ろうと思った。 (1年 女子)
- ・最後の学芸発表会でみんな気合いが入っていて、練習時には不安になったこともたまにあったけど、本番では一番上手に歌えたと思う。金賞は逃したけれど、最後みんな笑顔で終われたので良かったです。 (3年 女子)

『舞台発表の部』は、PTA合唱よりスタートしました。今年は実写版・牛込二朗くんも登場するなか「パプリカ」が唄われました。ご協力いただきました保護者・地域の皆様、ありがとうございました。



各学年の「総合的な学習」の発表では、1年生「女神湖移動教室」2年生「校外学習 鎌倉」、3年生「五感で味わう奈良・京都」についてそれぞれ発表が行われました。パワーポイントを有効に活用しながらクイズや寸劇を取り入れるなどして観る人の興味をひく工夫がされており、舞台と客席が一つになり楽しい時間を過ごすことができました。



1年 女神湖



2年 鎌倉



3年 修学旅行



吹奏楽部

吹奏楽部は、本年度コンクールの課題曲『セドナ』他を演奏しました。少人数の編成ながら聴く者を圧倒する迫力あるサウンドには、会場から大きな拍手が送られました。

英語科の発表では、スライドを工夫して会場とのやり取りを入れるなど、舞台と客席が一体となり英語学習を進める発表が行われました。

数楽部は「追い詰める！！」というゲームについて、数学的思考・理論のもと実演を交えて分かりやすく説明をしてくれました。

英語部は、夏季休業中に行われた英語学芸発表会で上演したオリジナルストーリーの英語劇を発表しました。

今回の学芸発表会でも、実行委員会が中心となり、事前準備・当日の運営と活躍してくれました。一人一人の生徒が主体性を持ち取り組んでくれたことで、牛込二中全生徒でつくりあげた学芸発表会となり、大成功のうちに終えることができました。



英語科



数楽部



英語部

・一つ一つの発表・合唱に心がこもっていると思いました。聞く側は真剣に聞き、話す側は分かりやすくなるように工夫がされていたと思います。拍手にも一人一人が心を込めながら行っていたと思いました。（1年 女子）

・全員が本気で取り組んでいて、とても面白い学芸発表会だったと思う。（2年 男子）

・学芸発表会はこれで最後だけれども、しっかりと悔いなくやり切れたので良かった。失敗したり思っていたものと違う風になってしまったりしたけれど、後悔もなく楽しく笑って終わることができたので良かった。（3年 男子）

祝都大会出場 女子バレーボール部（区大会：優勝、ブロック大会：4位）